

げんきっこ

R5・3・16

3月3日はひなまつり。ひなまつりのもとになっているのは、平安時代から行われている「流し雛」です。紙で作った人形に災厄を託して川に流して清めるといふ厄除けの行事でした。

また、ひし餅の緑と赤は、薬効のある、ヨモギとクちなシが使われていたそうです。

女の子の健やかな成長を願う「ひなまつり」保育園では、ひなまつり会でみんなで楽しく桃の節句のお祝いをしました。

「智慧希望」

♡希望をもって楽しく過ごす♡

いつも希望を胸の中に持ち、明るい明日の生活を目指して、よく学び、よく働き、よく遊び、すべての人のために楽しい社会を生み出すように努めましょう。

気持ちの積み重ねが心をつくる

卒園が近づいてきました。長い子は6年間を保育園で過ごし、すっかり身体も心も大きくなりました。ご飯を食べ、運動をすることで身体は大きくなりますが、心はどうすれば大きくなるのでしょうか。遊んで、「楽しいな」と思ったり、けんかしたり、勝負に負けて「くやしいな」と思ったり、友だちや先生に優しくしてもらって温かい気持ちになる、友だちが悲しんでいるのを見て自分もしょんぼりして悲しくなってしまう…生活の中のたくさんの出来事を通して感じた事すべてが心の中に積み重なっていき心を大きく成長させていくのだと思います。でも、心は誰にも見えません。見えないからこそ相手に伝える、そして見えないからこそ、相手はどんな風に思っているのか話を聞き、相手の気持ちを考えようと思える子どもたちです。ずっといてほしいと思います。

「ありがとう」「ごめんなさい」は魔法の言葉です。この2つの言葉は、どんな人とも仲良くなることができます。

これから出会うたくさんの人と

たくさんの経験をと通して

子どもたちの心ももっともって大きくなっていきますように



おたんじょうび おめでとう!!

♡3がつの誕生日会♡

3名の子どものお祝いをしました。お楽しみは橋岡先生が楽器の音当てクイズといろいろなものに形を変えていくタングラムシアターをしてくださいました。



子どもに多い 耳の病気

○急性中耳炎…

中耳（鼓膜の内側）に鼻やのどから、細菌やウイルスが入り込み炎症を起こし膿がたまる病気です。

小さな子どもでは、風邪の後、鼻やのどの炎症に続いて起こることがよくあります。

●主な症状

激しい耳の痛み・発熱・耳垂れ（耳から液体が出る）・耳が詰まって聴こえなくなる

◎気をつけること

小さな子どもの様子に注意

耳が痛くても、子どもは上手く言葉で症状や痛む場所を伝えられない場合が多いです。

耳に手をやったり、理由もなくぐずぐずする時は、体温の変化や耳の様子に注意をしてみましょう。



令和5年度 入園式について

入園式は4月3日（月）です。式は在園児・新入園児とその保護者のみで行います。なお、担任発表につきましては、げんきっこ4月にて発表に代えさせていただきますので、よろしくお祈りいたします。



一年間ありがとうございました！

冬の寒さが和らいでくるとどのクラスも待っていました！とばかりに散歩へ出掛けていきます。「いってきます〜す！」と笑顔で挨拶する子どもたちの明るい声につられるように花のつぼみが開きはじめ、鳥や虫たちも出てきます。

散歩だけでなく、子どもたちは戸外が大好きです。

泣いているすみれ組の子が保育者に抱っこされ、外に出ると泣くのをピタッと止めて太陽の光に目を細めたり、風を感じて笑顔になる様子からも子どもは常に五感を働かせ、いろんなことを感じている事に改めて気づかされます。

何気ない遊び・生活の中でも子どもは常に何かを感じ、学び、育っていくことがたくさんあります。その一見すると何気ない事に感じる事をきちんと保障してあげることが保育の大切な部分です。

- ・好きな遊びを時間をかけて遊びこむ
- ・こけてヒザをすりむく
- ・同じ絵本を繰り返して何度も読む
- ・友達とけんかをする

どんなことでも子どもが成長するための経験という価値のあるものです。

これらは園だけではなく、家庭と理解をし合い、協力することで子どもが経験する機会を生むことができるのだと思います。園と家庭が、子どもたちの健やかな成長を支えていくことができるようご理解・ご協力を宜しくお祈り致します。